

平成 29 年度 自己評価報告書

(専門学校等評価基準 Ver.4.0 準拠版)

平成 30 年 3 月 29 日

学校法人福岡医療学院

福岡医療専門学校

目 次

教育目標と本年度の重点目標の評価.....	1	5-16 就職等進路.....	27
基準 1 教育理念・目的・育成人材像.....	2	5-17 中途退学への対応.....	28
1-1 理念・目的・育成人材像.....	3	5-18 学生相談.....	29
基準 2 学校運営.....	5	5-19 学生生活.....	30
2-2 運営方針.....	6	5-20 保護者との連携.....	32
2-3 事業計画.....	7	5-21 卒業生・社会人.....	33
2-4 運営組織.....	8	基準 6 教育環境.....	34
2-5 人事・給与制度.....	9	6-22 施設・設備等.....	35
2-6 意思決定システム.....	10	6-23 学外実習、インターンシップ等.....	36
2-7 情報システム.....	11	6-24 防災・安全管理.....	37
基準 3 教育活動.....	12	基準 7 学生の募集と受入れ.....	38
3-8 目標の設定.....	13	7-25 学生募集活動は、適正に行われているか.....	39
3-9 教育方法・評価等.....	14	7-26 入学選考.....	41
3-10 成績評価・単位認定等.....	16	7-27 学納金.....	42
3-11 資格・免許の取得の指導體制.....	18	基準 8 財務.....	43
3-12 教員・教員組織.....	20	8-28 財務基盤.....	44
基準 4 学修成果.....	22	8-29 予算・収支計画.....	45
4-13 就職率.....	23	8-30 監査.....	46
4-14 資格・免許の取得率.....	24	8-31 財務情報の公開.....	47
4-15 卒業生の社会的評価.....	25	基準 9 法令等の遵守.....	48
基準 5 学生支援.....	26	9-32 関係法令、設置基準等の遵守.....	49
		9-33 個人情報保護.....	50
		9-34 学校評価.....	51
		9-35 教育情報の公開.....	53

基準 10	社会貢献・地域貢献	54
10-36	社会貢献・地域貢献	55
10-37	ボランティア活動	56

教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	平成 29 年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
<p>○ 教育理念 親が子に残せる唯一の財産は教育である。</p> <p>○ 目 標 教育基本法及び学校教育法に従い、学校教育を行い、知識・技術・人間性を兼ね備えた人材を育成することを目的とする。</p>	<p>○ 教育活動・学修成果 卒業生の国家資格全員合格はもちろんのこと、知識・技術・人間性を兼ね備えた医療人を育成する。</p> <p>○ 職業実践専門課程 職業実践専門課程を通じた PDCA サイクルを積極的に推進し、教育の質保証・向上に取り組む。</p> <p>○ 専門職大学の設置 福岡専門職大学（仮称、平成 31 年度設置予定）に向けた取り組みを進める。</p>	<p>○ 教育活動・学修成果 国家試験合格率（平成 29 年度） 柔道整復師 97.1% （103 名受験、100 名合格） はり師 93.5% （31 名受験、29 名合格） きゅう師 93.5% （31 名受験、29 名合格） 理学療法士 100% （52 名受験、52 名合格） 診療放射線技師 94.1% （51 名受験、48 名合格） 看護師 100% （38 名受験、38 名合格）</p> <p>○ 職業実践専門課程 ・ 教育課程編成委員会を年 2 回の開催 ・ 企業等と連携した授業の実施 ・ FD 研修会・教員研修等の実施 ・ 自己点検・評価、学校関係者評価の実施及びホームページ上の公表</p> <p>○ 専門職大学の設置 福岡専門職大学（仮称）の設置認可申請書を 11 月末に提出した。</p>	<p>○ 教育活動・学修成果 平成 29 年度国家試験は 2 学科が全員合格を果たしたものの、3 学科において残念ながら不合格者が出た。国家試験全体の合格率が低下する中、全国トップレベルの合格率を維持し続けるために、全学的に教育活動を改善していくことが必要である。平成 30 年度より柔道整復科及び鍼灸科のカリキュラム改訂があり、外部実習が開始される。本学の教育の特徴である「基礎医学力の徹底」を継続しながら、外部実習先との連携を深めて、実践的な医療人を育成していくことが課題である。</p> <p>○ 職業実践専門課程 文部科学省によるフォローアップが実施された。これを受けて教育の質保証・向上に努める。</p> <p>○ 専門職大学の設置 福岡専門職大学（仮称）設置認可申請に対する審査意見に対応した修正を行う。</p>

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育理念・目的については、学校案内パンフレット・学生募集要項・本校ホームページ等で公表している。</p> <p>各学科の育成人材像については、学校案内パンフレットで公表し、教職員・学生・保護者・関連業界等に周知している。</p> <p>教育課程編成委員会や次年度教育内容会議、学校関係者評価委員会を実施するとともに、本校教員が就職先に対する訪問活動を行い、関連業界等の人材ニーズの把握に努めている。</p> <p>また、臨床実践力や豊かな人間性を養うために関連業界等と連携して講義や実習を行い、専門的な教育活動を実施した。</p> <p>福岡専門職大学（仮称）について設置認可申請中であり、平成 31 年 4 月開学に向けて準備を行っている。</p>	<p>専門職大学を設置し、優れた専門的能力等をもって、新たな価値を創造する専門職業人材の養成をとおして、地域創生に寄与していく。</p>

最終更新日付	平成 30 年 2 月 20 日	記載責任者	滝沢 哲也
--------	------------------	-------	-------

1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	教育理念・目的・育成人材像を定め、広く関係者に対し、様々な方法で公表する方針である。	教育理念・目的については、学校案内パンフレット・本校ホームページ等で公表している。各学科の育成人材像については、学校案内パンフレットで公表し、教職員・学生・保護者・関連業界等に周知している。	教育理念に込められた想いが専門職大学に引き継がれ理解が深まるよう、情報を発信して関係者に周知を図っていく。	学校案内パンフレット 学生募集要項 本校ホームページ 学則 シラバス 教育課程編成委員会議事録 学校関係者評価委員会着議事録
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	教育課程編成委員会や次年度教育内容会議等を通じて、関連業界等の人材ニーズを把握し、育成人材像の見直しに必要な情報を収集する。	教育課程編成委員会や次年度教育内容会議、学校関係者評価委員会を実施するとともに、本校教員が就職先に対する訪問活動を行い、関連業界等の人材ニーズの把握に努めている。	育成人材像は、専門分野に関連する業界等の人材ニーズを反映させている。人材ニーズを学生に対して十分浸透させて育成していくことが課題である。	教育課程編成委員会議事録 次年度教育内容会議議事録 学校関係者評価委員会議事録 シラバス 本校ホームページ 就職活動報告書
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	基礎医学力、臨床実践力及び豊かな人間性を有した、即戦力を備えた医療人の養成を目標としている。	臨床実践力や豊かな人間性を養うために関連業界等と連携して講義や実習を行い、専門的な教育活動を実施した。	豊かな人間性を養うために、日頃から挨拶活動や清掃活動、献血等のボランティア活動に対して、積極的に参加する雰囲気づくりが課題である。	学校案内パンフレット 本校ホームページ 学生要覧
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	福岡専門職大学(仮称)を平成31年に設置することを目標としている。	福岡専門職大学(仮称)について設置認可申請中であり、平成31年4月開学に向けて準備を行っている。	専門職大学を設置し、優れた専門的能力等をもって、新たな価値を創造する専門職業人材の養成をとおして、地域創生に寄与していく。	学校案内パンフレット 本校ホームページ 教育課程編成委員会議事録 設置認可申請書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育理念・目的については、学校案内パンフレット・本校ホームページ等で公表している。各学科の育成人材像については、学校案内パンフレットで公表し、教職員・学生・保護者・関連業界等に周知している。</p> <p>教育課程編成委員会や次年度教育内容会議、学校関係者評価委員会を実施するとともに、本校教員が就職先に対する訪問活動を行い、関連業界等の人材ニーズの把握に努めている。また、臨床実践力や豊かな人間性を養うために関連業界等と連携して講義や実習を行い、専門的な教育活動を実施した。</p> <p>福岡専門職大学（仮称）について設置認可申請中であり、平成31年4月開学に向けて準備を行っている。</p>	<p>専門職大学を設置し、優れた専門的能力等をもって、新たな価値を創造する専門職業人材の養成をとおして、地域創生に寄与していく。</p>

最終更新日付	平成30年2月15日	記載責任者	梅崎 航
--------	------------	-------	------

基準 2 学校運営

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>運営方針は運営委員会で審議され、理事会及び評議員会の議を経て決定している。教職員には週礼や教職員会議をとおして、運営方針の指示・伝達を徹底している。</p> <p>福岡専門職大学（仮称）の設置に向けた将来構想は「中期計画書」に明文化している。各学科・各校務分掌が定期的に会議を実施し、事業計画の進捗状況を把握している。また、各学科・各校務分掌が起案した計画等を次年度事業計画にまとめ、理事会及び評議員会の承認を得ている。</p> <p>寄附行為の規程に基づき理事会と評議員会を開催し、監事が法人の監督を行い、適切な組織運営を行っている。</p> <p>教育体制は5学科体制とし、各学科長と担当副校長を中心に組織運営している。</p> <p>校務分掌は教務課・教養課・国家試験対策課・入試広報課・総務課・会計課・体育課・就職課の8課体制とし、各課長を中心に教員も所属して、学科横断的に編成・連携ができる協働体制を整備している。</p> <p>勤務規定、給与規定を定めて、必要かつ優秀な人材の確保に努めている。</p> <p>平成29年度は、育児やキャリアアップのため時間短縮勤務希望者が複数名おり、希望に応じた。平成30年度も希望者がいるため、希望に対応することを決定した。</p> <p>学校会議規程等に基づき、各会議を開催、意思決定を行っている。成績判定や卒業判定、次年度教育内容等は教務委員会で審議、決定を行っている。</p> <p>教職員がコンピューター等を使用する際、各担当業務が様々であるため、所属する学科・校務分掌等のネットワークにアクセスできるようにシステム化を行っている。特に使用頻度が高い帳票・書式は随時、雛型文書化して業務の効率化を図っている。</p>	<p>教育理念や運営方針の理解が深まるようにFD研修会を実施し、新入教職員の全員が参加した。また、医療機関から転職した教員が多く、運営方針の理解度に差があるため、運営方針を繰り返し説明し、組織内の浸透度を高める方針である。</p> <p>校務に関しては、勤続年数等により知識や経験、理解度等に差があるため、内外の研修等を活用してスキルアップを行う必要がある。</p> <p>育児と仕事が両立でき、安心して働けるよう事業所内保育施設等の設置を検討していく。政府が進めている働き方改革についても注視している。</p> <p>福岡専門職大学（仮称）について設置認可申請中であり、平成31年4月開学に向けて、設置準備室を中心に会議を実施し、意思決定を行っていく。</p> <p>平成30年1月に開催したFD研修会において、学生情報等の新しい管理システムに関して、専門業者を招いて研修を行った。次年度以降の導入について検討を行っていく。</p>

最終更新日付

平成30年2月20日

記載責任者

滝沢 哲也

2-2 運営方針

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	学校会議規程を定め、理念に沿った運営方針を組織として決定し、議事録としてまとめて教職員に周知徹底することを目標とする。	運営方針は運営委員会で審議され、理事会及び評議員会の議を経て決定している。教職員には週礼や教職員会議をとおして、運営方針の指示・伝達を徹底している。	教育理念や運営方針の理解が深まるようにFD研修会を実施し、新入教職員の全員が参加した。 教職員会議は全員が参加して運営方針等の周知徹底を図っている。	学校会議規程 運営会議議事録 教職員会議議事録 FD研修会抄録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
運営方針は運営委員会で審議され、理事会及び評議員会の議を経て決定している。教職員には週礼や教職員会議をとおして、運営方針の指示・伝達を徹底している。	教育理念や運営方針の理解が深まるようにFD研修会を実施し、新入教職員の全員が参加した。また、医療機関から転職した教員が多く、運営方針の理解度に差があるため、運営方針を繰り返し説明し、組織内の浸透度を高める方針である。

最終更新日付	平成30年2月15日	記載責任者	梅崎 航
--------	------------	-------	------

2-3 事業計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	中期計画ならび単年度事業計画を定め、適切な学校運営に努める。 学科ごと校務分掌ごとにその業務の進捗状況を把握する。	各学科・各校務分掌が定期的に会議を実施し、事業計画の進捗状況を把握している。また、各学科・各校務分掌が起案した計画等を次年度事業計画にまとめ、理事会及び評議員会の承認を得ている。	福岡専門職大学（仮称）について設置認可申請中であり、平成31年4月開学に向けて事業計画を定め、適切な学校運営に努めていく。	中期計画書 事業計画書 学科会議議事録 課内会議議事録 組織図

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
福岡専門職大学（仮称）の設置に向けた将来構想は「中期計画書」に明文化している。各学科・各校務分掌が定期的に会議を実施し、事業計画の進捗状況を把握している。また、各学科・各校務分掌が起案した計画等を次年度事業計画にまとめ、理事会及び評議員会の承認を得ている。	福岡専門職大学（仮称）について設置認可申請中である。

最終更新日付	平成30年2月15日	記載責任者	梅崎 航
--------	------------	-------	------

2-4 運営組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	寄附行為の規程に基づき理事会と評議員会を開催して適切な運営を行う。	寄附行為の規程に基づき理事会と評議員会を開催し、監事が法人の監督を行い、適切な組織運営を行っている。	福岡専門職大学（仮称）について設置認可申請中であり、平成31年4月開学に向けて理事・評議員・監事に対して迅速かつ適切に情報提供を行っている。	法人寄附行為 理事・監事・評議員名簿 理事会議事録 評議員会議事録 組織図
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	学校運営のための組織および規程を整備して、適切な学校運営に取り組む。	教育体制は5学科体制とし、各学科長と担当副校長を中心に組織運営している。 校務分掌は教務課・教養課・国家試験対策課・入試広報課・総務課・会計課・体育課・就職課の8課体制とし、各課長を中心に教員も所属して、学科横断的に編成・連携ができる協働体制を整備している。	職員の能力向上を図るため、外部研修を積極的に実施することを検討している。	学校会議規程 学校業務規程 組織図 法人寄附行為 研修参加報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>寄附行為の規程に基づき理事会と評議員会を開催し、監事が法人の監督を行い、適切な組織運営を行っている。</p> <p>教育体制は5学科体制とし、各学科長と担当副校長を中心に組織運営している。</p> <p>校務分掌は教務課・教養課・国家試験対策課・入試広報課・総務課・会計課・体育課・就職課の8課体制とし、各課長を中心に教員も所属して、学科横断的に編成・連携ができる協働体制を整備している。</p>	<p>職員の能力向上を図るため、外部研修を積極的に実施することを検討している。</p>

最終更新日付

平成30年2月15日

記載責任者

梅崎 航

2-5 人事・給与制度

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	事業計画に基づき必要な人材を確保する。勤務規定、給与規定を定めて、必要な人材の確保に努める。	平成 29 年度は、育児やキャリアアップのため時間短縮勤務希望者が複数名おり、希望に応じた。平成 30 年度も希望者がいるため、希望に対応することを決定した。	育児と仕事が両立でき、安心して働けるよう事業所内保育施設等の設置を検討していく。政府が進めている働き方改革についても注視している。	勤務規程 給与規程 教職員名簿 本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
勤務規程、給与規程を定めて、必要かつ優秀な人材の確保に努めている。 平成 29 年度は、育児やキャリアアップのため時間短縮勤務希望者が複数名おり、希望に応じた。平成 30 年度も希望者がいるため、希望に対応することを決定した。	育児と仕事が両立でき、安心して働けるよう事業所内保育施設等の設置を検討していく。政府が進めている働き方改革についても注視している。

最終更新日付	平成 30 年 2 月 15 日	記載責任者	梅崎 航
--------	------------------	-------	------

2-6 意思決定システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	意思決定の役割分担等を学校会議規程等で明確にして、意思決定を行う。	学校会議規程等に基づき、各会議を開催、意思決定を行っている。成績判定や卒業判定、次年度教育内容等は教務委員会で審議、決定を行っている。	福岡専門職大学（仮称）について設置認可申請中であり、平成31年4月開学に向けて、設置準備室を中心に会議を実施し、意思決定を行っていく。	学校会議規程 理事会議事録 運営会議議事録 教務委員会議事録 教職員会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校会議規程等に基づき、各会議を開催、意思決定を行っている。成績判定や卒業判定、次年度教育内容等は教務委員会で審議、決定を行っている。	福岡専門職大学（仮称）について設置認可申請中であり、平成31年4月開学に向けて、設置準備室を中心に会議を実施し、意思決定を行っていく。

最終更新日付	平成30年2月15日	記載責任者	梅崎 航
--------	------------	-------	------

2-7 情報システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-1 情報システム化 に取組み、業務の効率化を図っているか	学内ネットワークを整備し、業務の効率化を図る。 コンピューター等使用のルールを定め、適切なメンテナンスを実施し、セキュリティ対策を万全にする。	教職員がコンピューター等を使用する際、各担当業務が様々であるため、所属する学科・校務分掌等のネットワークにアクセスできるようにシステム化を行っている。特に使用頻度が高い帳票・書式は随時、雛型文書化して業務の効率化を図っている。	平成30年1月に開催したFD研修会において、学生情報等の新しい管理システムに関して、専門業者を招いて研修を行った。次年度以降の導入について検討を行っていく。	パソコン配置図 コンピューター使用ルール ウィルス感染等の防止について 個人情報保護規程 FD研修会抄録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教職員がコンピューター等を使用する際、各担当業務が様々であるため、所属する学科・校務分掌等のネットワークにアクセスできるようにシステム化を行っている。特に使用頻度が高い帳票・書式は随時、雛型文書化して業務の効率化を図っている。	平成30年1月に開催したFD研修会において、学生情報等の新しい管理システムに関して、専門業者を招いて研修を行った。次年度以降の導入について検討を行っていく。

最終更新日付	平成30年2月15日	記載責任者	梅崎 航
--------	------------	-------	------

基準 3 教育活動

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>理念等に沿った教育課程を各学年の教育到達レベルを踏まえて編成・実施するという方針のもと、医療人としての職業教育そして国家資格取得に対して、基礎分野、専門基礎分野、専門分野に系統立て、各分野が相互に連携するような教育課程を編成・実施し、各学年の教育到達レベルに応じた科目を配置している。</p> <p>キャリア教育についても産学協同で体系的に教育課程に組み込んでいる。平成 30 年度入学生から柔道整復科と鍼灸科も学外での臨床実習が始まるので教育体系を見直す。</p> <p>授業評価については、各学期で授業アンケートを学生に実施し、その結果を教員にフィードバックしている。</p> <p>成績評価及び修了基準、卒業基準及び既修得単位の認定は学生要覧に明記している。</p> <p>平成 31 年度に福岡専門職大学（仮称）の開学を予定している。これに伴い、平成 30 年度を以て学生募集を停止するので、閉校に向けた教育体制の強化や成績評価について検討する。</p> <p>全ての学科において、厚生労働省令の基準を満たした教員を基準数以上に配置している。また、将来の教員候補者の臨床実習施設での研修制度がある。</p> <p>教員は、各種研修会やセミナーへの参加、臨床研修により、教員の指導力と専門性向上に取り組んでいる。さらに、臨床研修日を設けて、実務に対する専門性を確保している。</p> <p>会議や勉強会等で教員間の意思疎通を密に連携・協力体制を構築し、授業内容・教育方法の改善を図っている。</p>	<p>正規の教育課程に加え、国家試験対策、有用な民間資格の取得、実践的なセミナーの開催、各種スポーツの部活動や大会におけるトレーナー活動、医療・介護系ボランティア活動、生涯学習や研究活動の礎となる学会参加など、様々なニーズに応えられるような職業教育を展開している。</p> <p>「臨床医学の礎となる基礎医学の大学教授等による講義」、「臨床の現場に立つ医師ら有資格者による臨床体験を交えた講義や実技」、「連携する企業の役職員等による実技演習」、「実際の臨床現場での臨床（臨地）実習」等を体系的に教育課程に組み込み、職業教育を推進している。</p> <p>また、臨床（臨地）実習をとおして、医療人としての立ち居振る舞いや職業観が身につくようなキャリア教育を行っている。</p> <p>クラス担任制をとり、学生個々人に目を配り対応できる体制をとっている。一方、諸問題が生じたときには、学科学校単位で情報を共有して解決している。</p> <p>生涯学習という観点からも、全学科で学生一人あたり数回の症例報告会や研究発表を実施している。</p> <p>全教員を対象とした FD 研修会を年 2 回開催し、教員の資質向上を図っている。</p> <p>学科の枠を超え他学科と横断的に交流することで、互いの良い点を吸収し、切磋琢磨している。また、得意分野を互いに提供し、共通案件には連携して対応する等の協力体制を構築している。</p>

最終更新日付

平成 30 年 2 月 20 日

記載責任者

滝沢 哲也

3-8 目標の設定

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	理念等（理念・目的・育成人材像）に沿って、医療人としての知識、技術、人間性が三位一体となるような教育課程を編成・実施する。	医療人としての職業教育そして国家資格取得に対して、基礎分野、専門基礎分野、専門分野に系統立て、各分野が相互に連携するような教育課程を編成・実施している。 これらは学校案内パンフレットや本校ホームページにて公表している。	法律の改正により、平成 30 年度入学生から柔道整復科と鍼灸科の総単位数を引き上げ、教育課程を再編成する。 柔道整復科Ⅲ部（夜）に関しては1日の授業時間数を1時間延長して対応する。	学則 学校案内パンフレット 本校ホームページ
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	教育課程編成・実施の方針を学科毎に定める。そのなかで、修業年限に応じて、各学年の教育到達レベルを設定する。	学科毎に、各学年の教育到達レベルを設定しており、それに応じた科目を配置している。 科目配置については、本校ホームページの「カリキュラム」や「職業実践専門課程の基本情報（様式4）」で公表している。	平成 30 年度入学生から柔道整復科と鍼灸科の総単位数が増え、新たな科目や内容が追加となる。教育到達レベルを見直し、配当年次の組み換えなど教育課程を再編成する。	学則 学生要覧 学校案内パンフレット 本校ホームページ 本校ホームページ（職業実践専門課程の基本情報 様式 4）

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>理念等に沿った教育課程を各学年の教育到達レベルを踏まえて編成・実施するという方針のもと、医療人としての職業教育そして国家資格取得に対して、基礎分野、専門基礎分野、専門分野に系統立て、各分野が相互に連携するような教育課程を編成・実施し、各学年の教育到達レベルに応じた科目を配置している。</p> <p>法律の改正により、平成 30 年度入学生から柔道整復科と鍼灸科の総単位数が増え、新たな科目や内容が追加となる。教育到達レベルを見直し、配当年次の組み換えなど教育課程を再編成する。柔道整復科Ⅲ部（夜）に関しては1日の授業時間数を1時間延長して対応する。</p>	<p>今年度の自己点検・自己評価の評定は前年度より 2%上昇した。</p> <p>正規の教育課程に加え、国家試験対策、有用な民間資格の取得、実践的なセミナーの開催、各種スポーツの部活動や大会におけるトレーナー活動、医療・介護系ボランティア活動、生涯学習や研究活動の礎となる学会参加など、様々なニーズに応えられるような職業教育を展開している。</p> <p>また、法律の改正により、平成 30 年度入学生から柔道整復科と鍼灸科の学外における臨床実習が始まる。本校ではそれに先駆けてインターンシップを数年前から導入しており、これから始まる学外実習の礎となっている。</p>

最終更新日付

平成 30 年 2 月 16 日

記載責任者

藤瀬 正

3-9 教育方法・評価等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	教育目標・目的に沿った育成人材像を学科毎に示し、その達成に向けた教育課程を体系的に編成する。	教育目標・目的に沿った育成人材像を学科毎に示し、その達成に向けた教育課程を編成している。 関連業界等の要職で構成する教育課程編成委員会と専任教員が主体の次年度教育内容会議を通じて、科目の新設や科目内容・指導方法・配当年次等について不断の見直しを行う体制を整えている。	法律の改正により、平成 30 年度入学生から柔道整復科と鍼灸科の総単位数を引き上げ、教育課程を再編成する。 この改正を機に、実践力と倫理観のある、本校の教育目的・目標により即した教育課程を、教育課程編成委員会や次年度教育内容会議の意見を生かしながら編成・実施していく。	学則 学校会議規程 教育課程編成委員会議事録 次年度教育内容会議議事録 本校ホームページ(職業実践専門課程の基本情報 様式 4) シラバス
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	教育課程編成委員会等により、関連業界等(職能団体、学会、企業、卒業生等)から意見を聴取し反映する場を設ける。	教育課程編成委員会の委員には、関連業界等の役職員や有識者が参画し、科目の開発や評価について議論を交わしながら、教育課程の編成や実施に寄与している。	平成 30 年度入学生から柔道整復科と鍼灸科の総単位数が増え、新たな科目や内容が追加となる。その分野に造詣の深い有識者を追加している。必要に応じて構成員を追加するとともに、教育課程編成委員会にて、平成 30 年度の教育課程編成についてレビューを行う。	学則 学校会議規程 教育課程編成委員会議事録 次年度教育内容会議議事録 本校ホームページ(職業実践専門課程の基本情報 様式 4) シラバス
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	医療人としての立ち居振る舞いを身につけ、臨床実習を通して、職業観を育むと共に業界や地域を取り巻く環境の把握に努め、問題解決能力を涵養する。	基礎分野と臨床(臨地)実習を中心にキャリア教育を行っている。基礎分野は接遇の基礎となる科目を配置している。臨床(臨地)実習は学年毎に達成すべきコミュニケーション力や問題解決能力を設定し、実際の臨床現場にて実習を行い、それを産学協同で評価している。	平成 30 年度入学生から柔道整復科と鍼灸科も学外での臨床実習が始まる。現在は正規科目ではないインターンシップという形をとっているが、今後は学外の臨床実習へと転換していくため、教育体系を見直す。	学則 学校会議規程 教育課程編成委員会議事録 次年度教育内容会議議事録 本校ホームページ(職業実践専門課程の基本情報 様式 4) シラバス 連携企業との協定書

3-9-4 授業評価を実施しているか	学生、教員、関連業界等による授業評価から得られる情報を教育体制の見直しに活用する。	各学期の終了時に終講した科目の授業アンケートを学生に実施し、鮮度の高い情報が得られるようにしており、その結果を教員にフィードバックしている。	アンケートの集計に時間を要しているため、速やかに結果がでるように見直す。	学生アンケートの実施資料及び結果
--------------------	---	--	--------------------------------------	------------------

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育目標・目的に沿った育成人材像を学科毎に示し、その達成に向けた教育課程を編成している。教育課程については、関連業界等の要職で構成する教育課程編成委員会と専任教員が主体の次年度教育内容会議により不断の見直しを行う体制を整えている。</p> <p>法律の改正により、平成 30 年度入学生から柔道整復科と鍼灸科の総単位数が増え、新たな科目や内容が追加となる。これを機に、本校の教育目的・目標により即した教育課程を、教育課程編成委員会や次年度教育内容会議の意見を生かしながら編成・実施していく。また、平成 30 年度の教育課程編成について、教育課程編成委員会にてレビューを行う。</p> <p>キャリア教育についても産学協同で体系的に教育課程に組み込んでいる。平成 30 年度入学生から柔道整復科と鍼灸科も学外での臨床実習が始まるので教育体系を見直す。</p> <p>授業評価については、各学期で授業アンケートを学生に実施し、その結果を教員にフィードバックしている。</p>	<p>今年度の自己点検・自己評価の評定は前年度より 4%上昇した。</p> <p>「臨床医学の礎となる基礎医学の大学教授等による講義」、「臨床の現場に立つ医師ら有資格者による臨床体験を交えた講義や実技」、「連携する企業の役職員等による実技演習」、「実際の臨床現場での臨床(臨地)実習」等を体系的に教育課程に組み込み、職業教育を推進している。</p> <p>また、臨床(臨地)実習を通して、医療人としての立ち居振る舞いや職業観が身につくようなキャリア教育を行っている。</p>

最終更新日付	平成 30 年 2 月 16 日	記載責任者	藤瀬 正
--------	------------------	-------	------

3-10 成績評価・単位認定等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	<p>成績評価基準を学則及び履修要項で定め、それに則った成績評価や修了の決定、卒業の認定を行う。</p> <p>また、客観性や統一性を確保するため、成績判定会議を開催する。</p> <p>既修得単位の認定についても学則に明記する。</p>	<p>成績評価及び修了基準、卒業基準、既修得単位の認定は学生要覧に明記している。</p> <p>学生要覧は全学生に配布し、各学年の始期にオリエンテーションにて、成績評価や単位認定についての周知を図っている。</p> <p>成績判定会議を開催して、成績評価や修了の決定、卒業の認定を行い、客観性や統一性の確保に努めている。</p> <p>既修得単位の認定は学生に配布している学生要覧に記載されているが、別途説明会も設けて基準を説明し、学生からの申請に応じて教務委員会に諮っている。</p> <p>前年度の課題であった診療放射線科 2 年の中間試験も導入し、スポーツトレーナーやスポーツ美容鍼灸といったコースの修了要件についても学生要覧に記載した。</p>	<p>平成 30 年度入学生から柔道整復科と鍼灸科の学外での臨床実習が始まる。学外の臨床実習においては、実習先の指導者とともに到達目標に対する適正な評価体制を構築していく必要がある。そのため、実習指導者会議の開催を計画している。</p> <p>平成 31 年度に福岡専門職大学（仮称）の開学を予定している。これに伴い、平成 30 年度を以て学生募集を停止する。閉校に向けた教育体制の強化や成績評価について検討する。</p>	<p>学則 学生要覧 履修要項 成績判定会議議事録 既修得単位の認定資料及び議事録</p>

<p>3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか</p>	<p>学生の研究発表は指導教員の指導の元で実施する。</p>	<p>学生が発表する機会として、「学会発表」や、臨床(臨地)実習の「症例報告会」等がある。これらは全て指導教員の指導の元で実施している。 その成果については、前者が受賞状況や抄録等による記録として残り、後者が個人の記録として指導要録にも記載される。</p>	<p>平成 30 年度入学生から柔道整復科と鍼灸科の学外での臨床実習が始まる。これに伴い、症例報告会についても見直していく。</p>	<p>学会発表時の抄録 症例報告会の評価表</p>
--	--------------------------------	--	--	-------------------------------

<p>中項目総括</p>	<p>特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)</p>
<p>成績評価及び修了基準、卒業基準及び既修得単位の認定は学生要覧に明記している。 学生要覧は全学生に配布し、各学年の始期にオリエンテーションにて、成績評価や単位認定についての周知を図っている。また、成績判定会議を開催して、客観性や統一性の確保に努めている。 既修得単位の認定も学生要覧に記載されているが、別途説明会を設け、申請に応じて教務委員会に諮っている。 平成 30 年度入学生から柔道整復科と鍼灸科の学外での臨床実習が始まるので、実習指導者会議を開催し適正な評価体制を構築する。 平成 31 年度に福岡専門職大学(仮称)の開学を予定している。これに伴い、平成 30 年度を以て学生募集を停止するので、閉校に向けた教育体制の強化や成績評価について検討する。 学生の研究発表は指導教員により管理されているので、その成果も把握している。学会発表が個人の記録として指導要録に残るようにしている。</p>	<p>全学科で単位認定試験の他に中間試験を実施し、その結果を学習指導に活用している。 クラス担任制をとり、学生個人に目を配り対応できる体制をとっている。一方、諸問題が生じたときには、学科学校単位で情報を共有して解決している。 生涯学習という観点からも、全学科で学生一人あたり数回の症例報告会や研究発表を実施している。</p>

<p>最終更新日付</p>	<p>平成 30 年 2 月 16 日</p>	<p>記載責任者</p>	<p>藤瀬 正</p>
---------------	-------------------------	--------------	-------------

3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	全ての学科において、目標とする国家資格を明確に定める。	<p>学科名が取得を目指す医療系の国家資格となっている。</p> <p>取得を目指す資格やその業務内容、進路については、学校案内パンフレットや本校ホームページ等で示している。</p>	平成 30 年度入学生から柔道整復科と鍼灸科の総単位数が増え、新たな科目や内容が追加となる。国家試験出題基準は、平成 33 年度国家試験より新カリキュラムに対応したものに变更される予定である。平成 30 年度入学生が卒業する翌年からの変更ではあるが、教育内容に不足がないよう教育課程を組み、国家資格の取得に備える必要がある。	<p>学則</p> <p>履修要項</p> <p>学校案内パンフレット</p> <p>本校ホームページ</p> <p>学生募集要項</p>
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	<p>資格取得のため、体系化された教育課程を編成・実施している。</p> <p>必要に応じて、補講や補習を実施して学力向上を目指す指導体制を構築する。</p>	<p>定期試験の結果等を元にした教育課程外での指導体制(補講や補習)を構築している。指導方法は、学年や学科、学期等によって異なり、定期試験等の成績判定会議にて方針を決めている。</p> <p>クラス担任制の元、科目担当教員とクラス担任の連携により、授業内容の補習をしている。授業内容の理解促進に努め、学生一人ひとりにきめ細やかな指導ができる体制を整えている。</p> <p>資格試験が不合格者だった者には授業や補習に参加できる再チャレンジ制度がある。</p>	柔道整復科は、平成 31 年度の国家試験より必修問題の問題数が 30 問から 50 問となる予定で、必修問題に占める各科目の比率も変更となる予定である。変更時期や内容が公表されれば、それに応じた対策を講じ、全員が国家試験に合格できるような体制づくりが必要となる。	<p>学校案内パンフレット</p> <p>本校ホームページ</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>全ての学科において、目標とする資格は明確であり、学科名が取得を目指す医療系の国家資格となっている。各学年での指導体制はもちろんのこと、国家試験不合格者への指導体制も整っている。</p> <p>科目担当教員とクラス担任の連携により、授業内容の補習を行うことで授業内容の理解促進に努めている。</p> <p>柔道整復科と鍼灸科は国家試験の出題基準の変さらに備える必要がある。</p>	<p>クラス担任制と国家試験対策室の設置により、学生一人ひとりの学習フォローや弱点の把握と克服に努めている。</p> <p>国家資格以外にも、職業に関連した資格の取得（リンパ浮腫治療、スポーツ関連、美容関連、第1種放射線取扱主任者等）の機会を提供している。</p>

最終更新日付	平成30年2月16日	記載責任者	藤瀬 正
--------	------------	-------	------

3-12 教員・教員組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	全ての学科において、国家資格に関する厚生労働省令の指定基準を満たす教員を確保する。	<p>学科毎に厚生労働省令の指定基準を満たす教員を配置している。</p> <p>将来の教員候補者が附属臨床施設で医療技術者としての研さんを積めるような研修制度がある。</p> <p>一人あたりの授業時数を考慮し、一週間のうち一日は研修日に充てられるような配慮をしている。</p>	教員養成講習会を受講していない教職員については、計画的に受講できるようにする。	<p>医療六法 平成 28 年度 研修等の実績及び計画 平成 29 年度 研修等の実績及び計画</p>
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	教員の教授力と専門性が向上するような取組みを行う。	<p>各種研修会やFD研修会、各学科での勉強会等をとおして指導力及び資質の向上に努めている。各学科の勉強会については、他学科の教員にも案内し自由に参加できるようにしている。</p> <p>臨床研修日を設けて、実務に対する専門性を確保している。</p> <p>研究活動や各職域の認定資格研修といった教員のキャリア開発への支援を行っている。</p>	教員養成講習会のない医療技術職については、学内外の研修に参加して指導力及び資質の向上を図る。	<p>FD研修会抄録 各科勉強会報告書 平成 28 年度 研修等の実績及び計画 平成 29 年度 研修等の実績及び計画</p>

3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	教員組織における業務分担や責任体制を明確にする。	学科毎に担当副校長、学科長、学年主任、クラス担任が任命されており、学科毎に実施している週一回の各学科会議や勉強会の際に教員間の連携・協力体制や授業内容・教育方法の改善を図っている。	柔道整復科は、平成30年度入学生から学外での臨床実習が始まるので、実習調整者を置く必要がある。	クラス担当表 校務分掌表
------------------------	--------------------------	--	---	-----------------

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>全ての学科において、厚生労働省令の基準を満たした教員を基準数以上に配置している。また、将来の教員候補者の臨床実習施設での研修制度がある。</p> <p>教員は、各種研修会やセミナーへの参加、臨床研修により、教員の指導力と専門性向上に取り組んでいる。さらに、臨床研修日を設けて、実務に対する専門性を確保している。</p> <p>会議や勉強会等で教員間の意思疎通を密に連携・協力体制を構築し、授業内容・教育方法の改善を図っている。</p> <p>柔道整復科については、学外臨床実習の導入に向けて、実習調整者を置く必要がある。</p>	<p>全教員を対象としたFD研修会を年2回開催し、教員の資質向上を図っている。</p> <p>学生指導については、学科会議や教職員会議、成績判定会議を通じて学科全体、学校全体で対応している。</p> <p>学科の枠を超え他学科と横断的に交流することで、互いの良い点を吸収し、切磋琢磨している。また、得意分野を互いに提供し、共通案件には連携して対応する等の協力体制を構築している。</p>

最終更新日付	平成30年2月16日	記載責任者	藤瀬 正
--------	------------	-------	------

基準 4 学修成果

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>求人数は、卒業生実数を上回っており、就職希望者に対する就職実績は、全学科において 100%である。インターンシップ制についても、学校・学生と求人先との相互理解に貢献している。今後も学生の目標に沿った支援体制ができるよう、教員による就職先訪問による情報収集や、新規求人先の開拓を継続していく。また、校友会を通じて、学生と求人先でもある卒業生との交流や企業説明会の実施など就職率向上に向けた活動を継続して行っていく。</p> <p>国家試験合格率は全国でもトップクラスを維持している。試験合格のポイントとなる必修問題対策、臨床実地問題対策など国試対策課と各科教員との連絡を密にし、学生の学力の状況、弱点などを確認しながら対策講座を実施している。昨年度は、担任数を増やすなど、担任制の見直しを行った。学生に対しよりきめ細かな指導ができるようになり、効果は上がっている。</p> <p>就職後を見据えた技術面に対しては、インターンシップや附属臨床施設での臨床実習、また、国家試験後にも実技研修を行い、スムーズに就職できるようフォローしている。</p> <p>卒業生の活躍の把握は、教育の質、内容の向上を図るだけでなく、学生募集活動や就職先拡大にもつながるという目標を全教員が再認識し、親密先からの情報収集を図り、校友会と協力して卒業生名簿の拡充と見直しを行う必要がある。</p> <p>今年度は、卒業生からの学校施設の貸出依頼も増えている。今後も積極的に利用してもらい、繋がりを深めていきたい。</p>	<p>病院などの医療機関の採用活動が年々早期化している傾向にある。早期離職者については減少傾向がみられる。</p> <p>看護師国家試験は、平成 30 年 2 月に実施される国家試験から出題基準が変更された。</p> <p>柔道整復師国家試験は、平成 32 年 3 月に実施される国家試験から出題基準が変更される予定である。</p> <p>校友会と連携し、名簿見直しによる卒業生の現況把握が必要である。</p>

最終更新日付

平成 30 年 2 月 20 日

記載責任者

滝沢 哲也

4-13 就職率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	一人ひとりの自己実現を目指すことを方針とする。学生個々の適性、希望に沿えるよう、また、就職後の活躍の支援、キャリアアップを推進する。	各科学科長が就職課を組織し、担任中心に、最上級生に対して求人情報の掲示・閲覧・個別相談を行っている。 柔道整復科と鍼灸科で導入した2年生次のインターンシップ制により、学生も早い段階で職業観を確立でき、実際にインターンシップ先への就職者も出てきている。	求人数は卒業生の実数を上回っており、就職率も高いが、病院などの医療機関の採用活動が年々早期化している傾向にある。資格取得に向けた学力向上と就職活動開始のタイミングの両面を見極めながらサポートしていく。 インターンシップ制導入後、就職実績も挙がってきており、さらに企業との親交を深めていきたい。 企業説明会の実施や求人票の見方のポイント等、支援体制の拡充を図っていく。	学校案内パンフレット 求人情報閲覧用資料 就職先・求人先訪問データ 卒業生の就職者データ(数、率) 就職活動報告書

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
求人数は、卒業生実数を上回っており、平成29年3月卒業生の就職希望者に対する就職実績は、全学科において100%である。インターンシップ制についても、学校・学生と求人先との相互理解に貢献している。今後も学生の目標に沿った支援体制ができるよう、教員による就職先訪問による情報収集や、新規求人先の開拓を継続していく。また、校友会を通じて、学生と求人先でもある卒業生との交流や企業説明会の実施など就職率向上に向けた活動を継続して行っていく。	病院などの医療機関の採用活動が年々早期化している傾向にある。早期離職者については減少傾向がみられる。

最終更新日付	平成30年2月15日	記載責任者	石橋 大輔
--------	------------	-------	-------

4-14 資格・免許の取得率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	全学科ともに国家資格全員取得はもちろんのこと、医療技術者としての知識、技術も有し、即戦力を備えた人材を育成する。	<p>国試対策課に各学科教員を配置し、各国家試験の動向を分析し、国家試験合格に向けた学力向上のための対策講座を行っている。</p> <p>模擬試験を数多く実施し、学生の状況を常に把握、検証しながら対策講座プログラムを組んでいる。</p> <p>年間をとおして行う臨床実習や、国家試験後に行う実技研修にて、就職後に役立つ技術指導を行っている。</p>	<p>担任制見直しにより学生のフォローアップ体制の拡充を図っているが、学生の意見等も聞きながら、さらに質を上げていきたい。</p> <p>国家試験の動向は年々変化している。看護師国家試験の出題基準の変更に対する検証や、近々変更される柔道整復師国家試験出題基準への対応が課題である。</p>	学校案内パンフレット 国家試験合格者状況表 セミナー実施計画表 本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>国家試験合格率は全国でもトップクラスを維持している。試験合格のポイントとなる必修問題対策、臨床実地問題対策など国試対策課と各科教員との連絡を密にし、学生の学力の状況、弱点などを確認しながら対策講座を実施している。昨年度は、担任数を増やすなど、担任制の見直しを行った。学生に対しよりきめ細かな指導ができるようになり、効果は上がっている。</p> <p>就職後を見据えた技術面に対しては、インターンシップや附属臨床施設での臨床実習、また、国家試験後にも実技研修を行い、スムーズに就職できるようフォローしている。</p>	<p>看護師国家試験は、平成30年2月に実施される国家試験から出題基準が変更された。柔道整復師国家試験は、平成32年3月に実施される国家試験から出題基準が変更される予定である。</p>

最終更新日付

平成30年2月15日

記載責任者

石橋 大輔

4-15 卒業生の社会的評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業生の活躍は、学校の評価だけでなく、学生募集や就職先紹介につながると考え、校友会を組織して、卒業生の活躍を把握していく。	今年度も、卒業生の親睦とキャリアアップを目的に校友会を2回実施している。 卒業生主催セミナーや、参加できる勉強会への学校施設の提供数も増えている。	卒業生の連絡疎遠先に対する現況等の確認については今年度も把握は進まなかった。校友会に参加する同窓生等を通じて把握に努めていくとともに、校友会名簿の見直しを進めていく。 卒業生からの学校施設の貸出依頼には積極的に対応していく。	校友会名簿 学校案内パンフレット 本校ホームページ 就職先訪問報告書 施設利用スケジュール表 施設利用願 施設利用規定

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>卒業生の活躍の把握は、教育の質、内容の向上を図るだけでなく、学生募集活動や就職先拡大にもつながるという目標を全教員が再認識し、親密先からの情報収集を図り、校友会と協力して卒業生名簿の拡充と見直しを行う必要がある。</p> <p>今年度は、卒業生からの学校施設の貸出依頼も増えている。今後も積極的に利用してもらい、繋がりを深めていきたい。</p>	校友会と連携し、名簿見直しによる卒業生の現況把握が必要である。

最終更新日付	平成30年2月15日	記載責任者	石橋 大輔
--------	------------	-------	-------

基準5 学生支援

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職率 100%を目標としている。平成 29 年度は 5 回の企業説明会を実施し、2 学科でインターンシップによる企業との連携を実施した。</p> <p>平成 30 年度から新たに 2 学科が外部実習に取り組む。現状以上に企業との連携を深めていく必要がある。</p> <p>学生が目標を見失わないようにするため、しっかりと担任が指導を行っていく必要がある。学習に問題が生じ、投げ出してしまいう学生もいるが、早期対応を行うことで解決法が見つかるケースも多い。今後も担任を中心に学生の資質を把握し、適切な指導を行っていく。</p> <p>学生の体調面や教員に相談できない内容については、専門の医師による相談体制を整備している。</p> <p>同じ学生が年間複数回にわたり担任に相談してくることが多く、学生との相談体制は担任による指導力が問われることとなる。学生と教員間での信頼関係の構築と早期発見・早期解決が課題である。</p> <p>学生が満足して学校生活を送り、円滑に学習できる環境を整える必要がある。担任が行う支援とは別に、設備の充実や環境の改善も必要とされる。</p> <p>保護者は、担任との面談にて、学生がどのような学校生活を送っているか初めて知ることがある。学生に問題が起きた場合には、できる限り来校していただき面談を実施することで、学校教育に対する理解と現状の共通認識をもつことが必要である。</p> <p>校友会を設置し、活動の支援をしている。本校にとって財産となる卒業生との連携は今後とても重要となる。校友会の連絡体制のネットワーク強化と本校との連携が必要不可欠である。</p>	<p>学校関係者評価委員会の企業等委員より、キャリア支援が重要であるという意見があった。そのため、本校としては、次年度以降は就職活動の方法のみならず、キャリア支援の充実を図る必要がある。</p> <p>奨学金の貸与を受けている学生の親が、奨学金を生活費として使いこんでしまう特殊なケースが毎年見受けられる。</p> <p>卒業生が多くなり、全体を把握することが難しくなっている。全体とは別で県人会等の設立も視野に入れる必要がある。</p>

最終更新日付

平成 30 年 2 月 20 日

記載責任者

滝沢 哲也

5-16 就職等進路

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	就職率 100%を目標として、就職支援を行っている。また、最高学年の担任と協力して、一人ひとりの自己実現を目指している。	昨年度より就職活動を円滑に進められるように、看護科においては3年生の4月にセミナーを実施した。 履歴書の書き方・服装等のマナー・面接対策強化のため、映像教材を使用した。 平成 29 年度は 5 回の企業説明会を実施し、2 学科でインターンシップによる企業との連携を実施した。	今年度は就職活動の早期化に対応し、学生の就職意識の改善を行うため、最上級生開始時期からの活動を促したが、全体的な学生の活動開始は例年どおり夏以降であった。 学校関係者評価委員会の委員より、就職後すぐに辞める若者がいるという意見があった。就職課によるキャリア支援を充実させ、早期離職を防止する取組みが必要である。	学校案内パンフレット 就職セミナー活動報告書 卒業生就職課パンフレット 卒業生の活躍リーフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職率 100%を目標としている。平成 29 年度は 5 回の企業説明会を実施し、2 学科でインターンシップによる企業との連携を実施した。 平成 30 年度から新たに 2 学科が外部実習に取り組む。現状以上に企業との連携を深めていく必要がある。	学校関係者評価委員会の企業等委員より、キャリア支援が重要であるという意見があった。そのため、本校としては、次年度以降は就職活動の方法のみならず、キャリア支援の充実を図る必要性がある。

最終更新日付	平成 30 年 2 月 15 日	記載責任者	田中 七郎
--------	------------------	-------	-------

5-17 中途退学への対応

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	退学の主な原因を 1) 経済的困難、2) 成績不振、3) 健康状態の悪化と捉え、担任制を通じた問題の早期把握に努め、学生一人ひとりをわが子と思い、退学率の低減を図ることを方針とする。	各クラスの担任が学生の状態を把握できるよう、毎日教室に足を運ぶようにしている。また、気になる学生は各学科毎週 1 回行われている科内会議にて情報を共有させている。その他に毎月 1 回担任会議等においても、問題がある学生の対応を全教員での共有を図っている。	複数の担任を各クラスに配置し、学生の状態を確認している。早期退学者については職業理解の意識の低さが原因となっているので 1 年次より見学実習を取り入れている。 成績不振者に対しては、担任の補習によるフォローアップ、経済的困難に対しては奨学金の使用、健康の維持・向上は、毎年の健康診断や附属臨床施設の利用を勧めている。	本校ホームページ 学生募集要項 組織図 サポートデスク概要 学生面談記録 学生個人連絡票 学科会議議事録 教職員会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生が目標を見失わないようにするため、しっかりと担任が指導を行っていく必要がある。学習に問題が生じ、投げ出してしまいう学生もいるが、早期対応を行うことで解決法が見つかるケースも多い。今後も担任を中心に学生の資質を把握し、適切な指導を行っていく。	奨学金の貸与を受けている学生の親が、奨学金を生活費として使いこんでしまう特殊なケースが毎年見受けられる。

最終更新日付	平成 30 年 2 月 15 日	記載責任者	田中 七郎
--------	------------------	-------	-------

5-18 学生相談

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	カウンセリングルームを複数設置し、担任と学生が話しやすい体制と環境を整備する。また、学校附属クリニックと連携して、教員には相談できない内容についても、専門の医師に相談できる体制をつくる。	成績不振、欠席・遅刻が多い学生は担任による面談を積極的に行い、早期解決を図っている。 また、実習中など校外学習中でも担任が学校携帯電話を持参し、相談、対応できる環境を整えている。	同じ学生が年間複数回にわたり担任に相談してくることが多い。 学生と教員の距離は必ず一線を引き、全学生を平等にみるように努めている。	校舎の各室の用途および面積一覧表 組織図 面談記録
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	留学生の担当教員を配置して、留学生が安心して学べる環境を整え、適切な支援体制を整備する。	平成 29 年度は留学生の受け入れはなかったが、今後、依頼があった場合には積極的に対応していく。	留学生が日本語を堪能に話せない場合の対応が必要となる。その場合にどのように留学生担当職員による支援体制を整備するか課題である。	本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生の体調面や教員に相談できない内容については、専門の医師による相談体制を整備している。</p> <p>同じ学生が年間複数回にわたり担任に相談してくることが多く、学生との相談体制は担任による指導力が問われることとなる。学生と教員間での信頼関係の構築と早期発見・早期解決が課題である。</p>	<p>教員と相談してもその場しのぎとなり、実行に移すことができない学生も多い。相談を行ったあとのフォローアップも重要となる。</p>

最終更新日付

平成 30 年 2 月 15 日

記載責任者

田中 七郎

5-19 学生生活

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	日本学生支援機構の奨学金による支援体制を整備している。また、本校独自の授業料減免規定を設けて、災害や家計急変等に対する支援を実施する。	入学前のオープンキャンパスで奨学金の案内をしている。また、災害時の緊急採用については、学内掲示板や担任から学生に伝達している。	金銭面が問題となるので、相談に対して躊躇がみられる。保護者からの連絡も遅くなることが多い。事前相談もなく、学納金を延滞する学生が増加傾向である。	学生募集要項 本校ホームページ 奨学金説明会実施要項 学生要覧 専門学校生への効果的な経済的支援の在り方に関する実証研究事業案内文書
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	健康管理規定を整備して、学生の健康を保持し、かつ学習能力の向上を図る。	全学生に対する年1回の健康診断を実施している。また、附属のクリニック、整骨院、鍼灸院の受診を推進している。 また、毎年インフルエンザの予防接種も希望者に実施している。	クラス担任が教室に出向き、換気の指導を行っている。 学生ホール等にうがい薬等を配置、利用を促し、学生の感染予防に努めた。	健康管理規定 組織図 学生要覧 インフルエンザ予防接種実施要項
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	提携する学生寮を設けて、遠方からの進学等により、居住に対する不安、食事に対する不安を軽減し、学習に専念できる環境を提供する。	提携寮を設置している。遠方からの学生にも安心して入学できるよう、オープンキャンパスでも寮案内を実施している。	昨年、提携寮の1つがホテルに改装され、受け入れ数が減少した。新たな学生寮の確保が課題となっている。	本校ホームページ 学生寮パンフレット
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	様々な課外活動を体験することは、学生の職業理解を深め、学習意欲を向上させると考え、積極的に支援する方針である。	各部活動に専任の顧問を配置している。日々の活動状況を日誌にまとめ、顧問に提出している。学科の垣根を超えた交流により、コミュニケーション能力を培うことができている。	学生が活動したくても、部活動そのものが存在しない場合もあり、新しい部活動等の開拓が必要である。	救護活動実施報告書 本校ホームページ 学生要覧 防災救急体験実施要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生が満足して学校生活を送り、円滑に学習できる環境を整える必要がある。担任が行う支援とは別に、設備の充実や環境の改善も必要とされる。</p>	<p>遠方からの入学生も多く、新しい環境に慣れるのが大変だと思われるが、環境に馴染めずに退学する学生は低減している。</p>

最終更新日付	平成 30 年 2 月 15 日	記載責任者	田中 七郎
--------	------------------	-------	-------

5-20 保護者との連携

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	オープンキャンパスで保護者説明会を実施し、入学前より本校の教育活動の理解を深める。入学後は担任と保護者の個別相談を適宜実施して、連携を強化することを方針としている。	学校生活、成績不振等がある場合は、保護者を含めた個別の面談を実施している。特に欠席、遅刻が続く学生に対しては、保護者への連絡を行うようにしている。	電話連絡には応じてくれるが、来校しての個別面談に関しては、辞退されるケースも多い。また、遠方からの来校により金銭的負担も多くなるケースもみられる。	本校ホームページ 面談記録 学生個人連絡票

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保護者は、担任との面談にて、学生がどのような学校生活を送っているか初めて知ることがある。学生に問題が起きた場合には、できる限り来校していただき面談を実施することで、学校教育に対する理解と現状の共通認識をもつことが必要である。	本校と保護者との連携体制はおおよそ確立されている。来校依頼に対しても多くの保護者に対応していただいている。これは、本校と保護者との信頼関係を築いているからだと言える。

最終更新日付	平成30年2月15日	記載責任者	田中 七郎
--------	------------	-------	-------

5-21 卒業生・社会人

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	校友会を組織し、卒業生の活躍の把握、卒後研修の実施、キャリアアップの相談等、積極的に支援する方針である。 柔道整復師の卒後臨床研修では、本校を会場として提供し、生涯学習の基盤作りに協力する。	年2回の校友会を実施し、講演会と就職相談を実施している。 全学科で卒業生の就職先訪問を行っている。	卒業生への郵便物が届かなくなるケースが多い。転居した場合等は必ず校友会に変更連絡を入れるように在校時から伝えていく。	本校ホームページ 校友会実施要項 卒後臨床研修実施要項 本校 Facebook、LINE 就職先訪問報告書
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	職業実践専門課程を通じた、企業との連携を行い、時代のニーズに合った学生教育プログラムを作成する方針である。	教育課程編成委員会での意見を活用し、次年度教育会議を行っている。カリキュラムの見直しや学生のニーズを反映させる教育プログラムを作成している。	就職先訪問から企業ニーズも取り入れている。企業側からは知識・技術の向上よりも社会人としてのマナーや礼儀等の向上について意見が多い。	教育課程編成委員会議事録 教員研修会参加報告書 校友会実施要項
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人が学び直して医療系国家資格を取得したいというニーズが高まっていることを認識し、修学支援を積極的に実施する方針である。	本校では全学生が参加可能な各種セミナーを実施している。専門分野以外の領域でも自由に参加できる環境を整備している。	学び直しの社会人学生と高校新卒学生とではモチベーションの差が大きくあり、問題を生むケースがある。リーダーシップを発揮するケースもみられるが、軋轢を生むケースもみられることがある。	学校案内パンフレット 学生募集要項 学生要覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
校友会を設置し、活動の支援をしている。本校にとって財産となる卒業生との連携は今後とても重要となる。校友会の連絡体制のネットワーク強化と本校との連携が必要不可欠である。	卒業生が多くなり、全体を把握することが難しくなっている。全体とは別で県人会等の設立も視野に入れる必要がある。

最終更新日付	平成30年2月15日	記載責任者	田中 七郎
--------	------------	-------	-------

基準 6 教育環境

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>施設・設備は設置基準、関係法令に十分対応しており、必要に応じて整備・改善している。</p> <p>附属臨床施設の設備を活用し、学科の垣根を越えた多種多様な医学教育を実施している。</p> <p>学外実習等は、それぞれの職業に対するモチベーションを向上させることを目標に各学科の教育計画に基づき、外部の実習施設・医療機関と連携を図り、実践的な職業教育を行っている。</p> <p>海外研修は、全学科が台湾・ハワイの医療機関と連携し実施する。</p> <p>学校の安全対策では、消防計画を策定し、組織的に対応することを方針としている。学内における安全管理体制では、防犯、火災、防災監視として24時間体制のセキュリティーサービスを警備会社に委託し万全を期している。</p>	<p>平成 31 年度から開学へ設置認可申請中の専門職大学の設置基準に対応した施設・設備の整備作業を今年度より開始した。</p> <p>専門職大学で行う臨地実務実習の実施体制作りを地域医療機関と連携して今年度より開始している。</p> <p>新校舎建設（平成 31 年 3 月竣工）に伴い、新たな消防計画の作成を行う必要がある。</p>

最終更新日付

平成 30 年 2 月 20 日

記載責任者

滝沢 哲也

6-22 施設・設備等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	関係法令で定められた施設・設備を備え、各学科の教育目標に対応できるように整備を行う。	学科毎に、実際の臨床現場で使用する機器、教育用具を実習室・実技室に備え、必要に応じて整備・改善している。 附属臨床施設の設備を活用し、学科の垣根を越えた多種多様な医学教育を実施している。	最先端の医学教育を提供するために ICT 機器等を計画的に設備・備品の追加を検討する必要がある。 平成 31 年度から開学へ設置認可申請中の専門職大学の関係法令で定められた施設・設備を備え、各学科の教育目標に対応できるように整備を行う。	校舎の各室の用途および面積一覧表 機械器具・標本及び模型の目録 教育用機器備品チェック表 図書目録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
施設・設備は設置基準、関係法令に十分対応しており、必要に応じて整備・改善している。 附属臨床施設の設備を活用し、学科の垣根を越えた多種多様な医学教育を実施している。	平成 31 年度から開学へ設置認可申請中の専門職大学の設置基準に対応した施設・設備の整備作業を今年度より開始した。

最終更新日付	平成 30 年 2 月 10 日	記載責任者	富永 忠雅
--------	------------------	-------	-------

6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習等は各学科の教育計画に基づいて実施する。外部の実習施設・医療機関と連携を図り、実践的な職業教育を行う方針である。	学外実習が義務付けられている学科では、指導者会議を開催し、実習先の指導者と連携した臨床実習体制を構築している。 柔道整復科・鍼灸科では、インターンシップを実施し、実践的な職業教育を行っている。 海外研修は、昨年度に引き続き、全学科が台湾・ハワイの医療機関と連携し実施する。	平成 30 年度より柔道整復科と鍼灸科は、学外における臨床実習が可能となるため、実習先の指導者と連携した臨床実習体制を構築する必要がある。 平成 31 年度開学予定の専門職大学で行う臨地実務実習の実施体制の整備を今年度から開始する。	学則 履修要項 学校パンフレット 本校ホームページ 臨床実習マニュアル インターンシップ受入れ承諾書 台湾研修資料 ハワイ研修資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学外実習等は、それぞれの職業に対するモチベーションを向上させることを目標に各学科の教育計画に基づき、外部の実習施設・医療機関と連携を図り、実践的な職業教育を行っている。 海外研修は、全学科が台湾・ハワイの医療機関と連携し実施する。	専門職大学で行う臨地実務実習の実施体制作りを地域医療機関と連携して今年度より開始している。

最終更新日付	平成 30 年 2 月 10 日	記載責任者	富永 忠雅
--------	------------------	-------	-------

6-24 防災・安全管理

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	消防計画を定め、組織的な取組体制を整備している。	消防計画に基づき、施設・設備の点検、年2回の防災訓練、学生に対しての防災救急講習を実施し、改善の必要に応じて適切に対応している。	新校舎建設に伴い、新たな消防計画の作成を検討する必要がある。 緊急事態の対応として緊急連絡網を作成しているが、安否確認システムの準備を検討する必要がある。	消防計画 総合訓練任務分担表 総合訓練実施報告書 消防用設備等点検結果報告書
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	怪我人・病人対応マニュアルを作成し運用する。	安全管理体制のマニュアルを整備し、学内における事故発生時に適切に対応している。	常に事故防止の周知徹底に努める。 AEDの設置等を検討し、安全管理体制の維持向上に努める。	怪我人・病人対応マニュアル 学生生徒災害傷害保険加入証 学校賠償責任保険加入証 医療分野学生生徒賠償責任保険加入証

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校の安全対策では、消防計画を策定し、組織的に対応することを方針としている。学内における安全管理体制では、防犯、火災、防災監視として24時間体制のセキュリティーサービスを警備会社に委託し万全を期している。	新校舎建設（平成31年3月竣工）に伴い、新たな消防計画の作成を行う必要がある。

最終更新日付	平成30年2月10日	記載責任者	富永 忠雅
--------	------------	-------	-------

基準 7 学生の募集と受入れ

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>専門職大学設置に向けて、専門学校で行ってきた広報を見直し、大学としての広報を実施していく。高校現場の状況をみると、専門職大学についての認知はほとんどされていない。そのため本学の情報だけでなく、専門職大学制度全体についても積極的に広報を行い、情報を浸透させていく。</p> <p>入学試験に関する規程を定め、学生募集要項に選考方法等を明記し適切に運用する。面接試験において、受験者の適性或職業理解などを複数の担当者で多角的にみている。個人情報については専属の部署を設置し厳重に管理している。</p> <p>学納金について、教育内容にふさわしい、適切な水準に定めることを方針としてきた。年間諸経費についてもはっきりと金額を明記しており、受験生の経済的計画に支障がないように配慮している。学納金の返戻についても募集要項上に明記している。</p>	<p>受験生アンケートをみると、インターネットで本校を知ったという割合が非常に高い。今後は、ホームページに専門職大学の特長や制度などの情報を拡充することで、専門職大学の認知度を高め、競合他校との差別化を行い、学校見学会などへの来場意欲を喚起させていく。</p> <p>入学試験については、専門職大学の設置認可のスケジュールを勘案して実施する。</p> <p>専門職大学の学納金設定については、近隣大学の状況を参考にしながら、適切な水準に定めることを方針とする。</p>

最終更新日付	平成 30 年 2 月 20 日	記載責任者	滝沢 哲也
--------	------------------	-------	-------

7-25 学生募集活動は、適正に行われているか

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	<p>教育内容や取り組みについてより具体的に伝えるために学校案内パンフレットやホームページにて、学外実習や就職サポートについて詳細な情報を提供する方針である。</p> <p>職業理解のための出前講義については引き続き強化していく方針である。</p>	<p>ホームページを中心に、学校概要の他、実習などの学ぶ内容や、本校で取得できる6つの医療系国家資格について、業務内容や、就職の状況など詳細な内容を拡充した。高等学校に対しても、このような情報を訪問の上説明し、入学後のミスマッチがないように情報提供を行った。</p>	<p>平成31年度の専門職大学開学に向けて設置認可申請中である。平成30年度からは、大学としての広報を実施する。九州初の専門職大学を目指しているため、職業理解の内容に加えて、専門職大の概要についても情報提供をしていく必要がある。</p>	<p>学校案内パンフレット 医療資格テキストブック 本校ホームページ</p>
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	<p>学生募集活動は、高等学校の理解と専修学校協会との連携を図りながら適切に行う方針である。</p>	<p>推薦入試・AO入試については専修学校協会の申し合わせ事項に準じて実施した。オープンキャンパス等では、入試の説明を行い、受験における心構えやポイント等についても説明を実施し、受験意欲を喚起した。</p> <p>遠方の志願者への対策として本校単独の県別学校説明会や五島地区と那覇会場の入試を実施した。</p>	<p>専門職大学の設置認可申請中のため、学生募集活動については、認可のスケジュールを勘案しながら実施する。</p>	<p>学校案内パンフレット 学生募集要項 本校ホームページ</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>専門職大学設置に向けて、専門学校で行ってきた広報を見直し、大学としての広報を実施していく。高校現場の状況を見ると、専門職大学についての認知はほとんどされていない。そのため本学の情報だけでなく、専門職大学制度全体についても積極的に広報を行い、情報を浸透させていく。</p>	<p>受験生アンケートをみると、インターネットで本校を知ったという割合が非常に高い。これまで既存の専門学校では学校の情報だけでなく、資格や職業理解のページの充実、情報の開示等の取組みを行い、実績を上げている。今後はこれらに加えて、専門職大学の特長や制度などの情報を拡充することで、専門職大学の認知度を高め、競合他校との差別化を行い、学校見学会などへの来場意欲を喚起させていく。</p>

最終更新日付	平成 30 年 2 月 14 日	記載責任者	中村 秀樹
--------	------------------	-------	-------

7-26 入学選考

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	入学試験に関する規程を定め、学生募集要項に選考方法等を明記し適切に運用する。	入学試験における面接試験は、受験者の適性或職業理解などを複数の担当で多角的に判断している。 合否判定会議を行い公正な判定を行っている。	専門職大学の設置認可申請に伴い、入試制度についても新たに設ける必要がある。	学校案内パンフレット 学生募集要項
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	入学選考に関する実績等の情報を正確に把握・記録し、適切な方法で保管する。 授業の改善や学生指導以外にも、高校における募集活動について活用する。	入学選考の情報は入学前教育や、入学後の学生指導等に活用している。管理方法については、個人情報であるため専属の部署を設置し厳重に管理している。	専門職大学として必要な情報管理、活用方法について、検討、準備していく方針である。	学校案内パンフレット 受験者数の推移表 入学選考資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学試験に関する規程を定め、学生募集要項に選考方法等を明記し適切に運用する。面接試験において、受験者の適性或職業理解などを複数の担当で多角的にみている。	入学試験については、専門職大学の設置認可のスケジュールを勘案して実施する。

最終更新日付	平成 30 年 2 月 14 日	記載責任者	中村 秀樹
--------	------------------	-------	-------

7-27 学納金

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	学納金は教育内容にふさわしい、適切な水準に定めることを方針とする。また、年間諸経費を明記して、入学者が卒業までに必要な経費をすべて明示する。	今年度については学納金を据え置きして年間諸経費については必要最小限の増額にとどめ、入学希望者の負担が増えないように配慮した。	学納金の設定については、近隣大学の状況も比較しつつ、大学としてふさわしい教育内容を実施するため、適切な学納金設定を行う。	学校案内パンフレット 学生募集要項
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	入学辞退者に対する授業料等の取扱いは、平成18年度文部科学省通知の趣旨に沿って適正に対応している。	ホームページや学生募集要項の学納金等の項目に、入学辞退に関する学納金返戻について明記しており、適切に対応している。	専門職大学の募集についても、既存の専門学校の実績をふまえて、募集要項やホームページに明記して適切に対応する予定である。	学生募集要項 本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学納金について、教育内容にふさわしい、適切な水準に定めることを方針としてきた。年間諸経費についてもはっきりと金額を明記しており、受験生の経済的計画に支障がないように配慮している。学納金の返戻についても募集要項上に明記している。	専門職大学の学納金設定については、近隣大学の状況を参考にしながら、適切な水準に定めることを方針とする。

最終更新日付

平成30年2月14日

記載責任者

中村 秀樹

基準 8 財務

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>中長期的に安定した財務基盤を構築するため、安定した入学者の確保について、全学科をあげて取り組んでいる。</p> <p>専門職大学設置に向けて、文部科学省が公表する財務・経営状況比率表の全国平均値と比較した分析を行い、財務・経営の問題点を早期に発見し対策を講じる。</p> <p>平成 34 年度までの財政計画及び経費の見積もり及び資金計画を記載した書類を作成して、予算の適正な執行と管理に努める。平成 31 年度専門職大学設置に向けた予算の執行が今年度から実施されている。</p> <p>私立学校法及び寄附行為に基づき監事による監査を実施し、その結果を理事会、評議員会に報告する。監査報告書は学校のホームページに公開している。監事に教職員会議や運営会議の出席を要請し、学校活動について広く情報の提供を実施する。</p> <p>私立学校法に基づく財務情報公開を実施しており、ホームページで積極的に公開している。昨年度第三者評価を受審し、その結果についてもホームページで公開した。</p>	<p>建設費の高騰を受け、専門職大学設置に係る新 3 号棟の建築費が当初の計画を上回るようになった。一方、専門職大学設置基準により、必要校地面積の減免処置が実施されることになったので、コストダウンも見込まれている。</p> <p>専門職大学設置に向けた監事機能の強化策を講じる。</p> <p>事業報告書に関しては、公認会計士協会から記載例が出ており、それを参考にして記載方法を変更した。</p>

最終更新日付	平成 30 年 2 月 20 日	記載責任者	滝沢 哲也
--------	------------------	-------	-------

8-28 財務基盤

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	安定した入学者を確保することが中長期的な財務基盤の安定化につながる。専門職大学設置に係る設備投資については、自己資金の範囲内で行うことを原則として、財務基盤の安定を図る。	柔道整復科の入学定員を削減し、定員充足率を高める。専門職大学設置に向けた資金計画を作成し、完成年度（平成35年3月）までの資金計画を策定した。	最も重要な課題は、専門職大学の定員充足率の向上である。専門職大学に対する学生募集アンケートの結果は十分に入学定員を充足している。適切な学生募集活動を確実に実施し、中期的な財務基盤を安定させる。	過去3年間の決算書 平成29年度予算 学生確保の見通しと学生確保に向けた取組を記載した書類 学校案内パンフレット 学生募集要項
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	文部科学省が公表する財務・経営状況比率表に記載がある財務分析を実施し、適切な財務管理を行う。	文部科学省が公表する財務・経営状況比率表の全国平均値と比較して、分析を行う。	経常経費依存率 100%を下回っており、改善に努める。	過去3年間の決算書 平成29年度予算 財務比率表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>中長期的に安定した財務基盤を構築するため、安定した入学者の確保について、全学科をあげて取り組んでいる。</p> <p>専門職大学設置に向けて、文部科学省が公表する財務・経営状況比率表の全国平均値と比較した分析を行い、財務・経営の問題点を早期に発見し対策を講じる。</p>	平成31年度に専門職大学を設置するため、資金計画を見直した。

最終更新日付	平成30年2月6日	記載責任者	滝沢 裕子
--------	-----------	-------	-------

8-29 予算・収支計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	単年度予算・計画及び中期予算・計画を策定し、専門学校及び専門職大学として適切な学校運営を行う方針である。	予算及び計画は、評議員会での検討・検証を経て理事会で決定している。 専門職大学の完成年度に当たる平成34年度までの中期計画を策定した。	建設費の高騰を受け、専門職大学設置に係る新3号棟の建築費が当初の計画を上回るようになった。一方、専門職大学設置基準により、必要校地面積の減免処置も実施されることによる、コストダウンも見込まれている。	平成29年度予算書 平成34年度までの財政計画経費の見積もり及び資金計画を記載した書類
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	予算と決算の対比表を作成し、理事会・評議員会に報告し、適切な執行に努めることを方針とする。	理事会、評議員会に予算と決算数値の対比を報告している。会計監査法人による会計監査を開始して、適切な執行管理に努めている。	私立学校振興助成法に規定に基づく公認会計士監査に向けた取組に着手することにより、適正な管理執行体制を構築する。	過去3年間の損益計算書 平成29年度予算書 経費の見積もり及び資金計画を記載した書類 会計監査報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
平成34年度までの財政計画及び経費の見積もり及び資金計画を記載した書類を作成して、予算の適正な執行と管理に努める。平成31年度専門職大学設置に向けた予算の執行を今年度から実施している。	建設費の高騰を受け、専門職大学設置に係る新3号棟の建築費が当初の計画を上回るようになった。一方、専門職大学設置基準により、必要校地面積の減免処置が実施されることになったので、コストダウンも見込まれている。

最終更新日付	平成30年2月6日	記載責任者	滝沢 裕子
--------	-----------	-------	-------

8-30 監査

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	私立学校法及び寄附行為に基づき監事による監査を実施する。	監査結果は、監査報告書としてまとめられ、理事会、評議員会に報告されている。監査報告書は学校ホームページに公開する。	専門職大学設置に向けた監事機能の強化策を講じる。監事に教職員会議や運営会議の出席を要請し、学校活動について広く情報の提供を実施する。	寄附行為 監査報告書 教職員会議議事録 運営会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
私立学校法及び寄附行為に基づき監事による監査を実施し、その結果を理事会、評議員会に報告する。監査報告書は学校のホームページに公開している。監事に教職員会議や運営会議の出席を要請し、学校活動について広く情報の提供を実施する。	専門職大学設置に向けた監事機能の強化策を講じる。

最終更新日付	平成 30 年 2 月 6 日	記載責任者	滝沢 裕子
--------	-----------------	-------	-------

8-31 財務情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	私立学校法に基づく財務情報公開を行う。	ホームページに財務諸表を掲載し、積極的な公開に取り組んでいる。 第三者評価の結果についてもホームページで公開した。	事業報告書に関しては、公認会計士協会から記載例が出ており、それを参考にして記載方法を変更する。	本校ホームページ 財務書類（事業報告書、資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表、財産目録） 第三者評価報告書 平成28年度事業報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
私立学校法に基づく財務情報公開を実施しており、ホームページで積極的に公開している。昨年度第三者評価を受審し、その結果についてもホームページで公開した。	事業報告書に関しては、公認会計士協会から記載例が出ており、それを参考にして記載方法を変更した。

最終更新日付	平成30年2月6日	記載責任者	滝沢 裕子
--------	-----------	-------	-------

基準 9 法令等の遵守

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>設置基準等を遵守して適正な学校運営を行っている。</p> <p>関係法令・諸規則を周知する環境を整え、教職員会議において周知徹底を図っている。特に、入職時には教職員に対して、コンプライアンスに関するオリエンテーション資料を用いて指導している。</p> <p>個人情報保護規程に基づき、厳格に運用している。</p> <p>教職員に対して、個人情報の取り扱いに十分注意するよう周知徹底を図っており、個人情報保護に関する意識の維持、向上に努めている。</p> <p>自己点検・自己評価委員会を設置し、毎年教職員全員で自己点検を実施し、評価結果を学校運営に生かしている。</p> <p>入職初年度の常勤教職員に対して、自己点検・自己評価を初めて実施する際には、その趣旨を十分理解できるように説明を行った。</p> <p>また、文部科学省ガイドライン準拠の評価報告書に取りまとめ、本校ホームページにて公表している。</p> <p>学校関係者評価実施規程に基づき、学校関係者評価委員会を設置して、学校評価を実施し、評価結果を学校運営に生かしている。また、学校関係者評価委員に対してさらなる理解を深めてもらうために、専門職大学に関することも含め情報の提供を行った。</p> <p>職業実践専門課程の規定に則り、基本情報「様式 4」を本校ホームページに掲載し、積極的な情報公開を行っている。</p> <p>また、スマートフォンの普及に対応するため、スマートフォン用学校ホームページの内容の充実を行っている。</p>	<p>教職員及び学生が各種ハラスメントを起こさないよう適宜指導している。今後、FD 研修会等を活用して理解度の向上を図っていく。</p> <p>ウィルスメール等のサイバー攻撃や SNS をとおした情報漏えい等に関して、適切に対処していく必要がある。</p> <p>学校関係者評価委員会を設置して、学校評価を実施し、評価結果を学校運営に生かしている。また、専門職大学の設置に向けて、評価委員の意見を取り入れ、専門職業人の養成を目的とした新しい高等教育機関の創設に取り組んでいく。</p> <p>スマートフォンで本校の情報を収集する関係者が年々増加している。さらに内容の充実を図っていくために、インターネットに精通した事務職員の養成を行っている。</p>

最終更新日付

平成 30 年 2 月 20 日

記載責任者

滝沢 哲也

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	広く社会の信頼を得るため、関係法令及び設置基準を遵守することが重要であると考え、このことを全教職員が認識できるように必要な研修等を実施する。	設置基準等を遵守して適正な学校運営を行っている。 関係法令・諸規則を周知する環境を整え、教職員会議において周知徹底を図っている。特に、入職時には教職員に対して、コンプライアンスに関するオリエンテーション資料を用いて指導している。	教職員及び学生が各種ハラスメントを起こさないよう適宜指導している。今後、FD 研修会等を活用して理解度の向上を図っていく。	認可・届出書類 学則 学生要覧 教職員会議議事録 入職オリエンテーション資料

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
設置基準等を遵守して適正な学校運営を行っている。 関係法令・諸規則を周知する環境を整え、教職員会議において周知徹底を図っている。特に、入職時には教職員に対して、コンプライアンスに関するオリエンテーション資料を用いて指導している。	教職員及び学生が各種ハラスメントを起こさないよう適宜指導している。 今後、FD 研修会等を活用して理解度の向上を図っていく。

最終更新日付

平成30年2月15日

記載責任者

梅崎 航

9-33 個人情報保護

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	関係法令等に沿って、個人情報保護規程を定め、情報漏洩等がないようプライバシー保護をすることを方針とする。	個人情報保護規程に基づき、厳格に運用している。 教職員に対して、個人情報の取り扱いに十分注意するよう周知徹底を図っており、個人情報保護に関する意識の維持、向上に努めている。	ウィルスメール等のサイバー攻撃や SNS をとおした情報漏えい等に関して、適切に対処していく必要がある。	個人情報保護規程 コンピューター使用ルール ウィルス感染等の防止について 学校関係者評価における守秘義務に関する規程

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報保護規程に基づき、厳格に運用している。 教職員に対して、個人情報の取り扱いに十分注意するよう周知徹底を図っており、個人情報保護に関する意識の維持、向上に努めている。	ウィルスメール等のサイバー攻撃や SNS をとおした情報漏えい等に関して、適切に対処していく必要がある。

最終更新日付	平成 30 年 2 月 15 日	記載責任者	梅崎 航
--------	------------------	-------	------

9-34 学校評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	学校評価実施規程を定め、その規定に沿って自己評価を行い、教職員全員が参加して自己点検を行うことを方針としている。	入職初年度の常勤教職員に対して、自己点検・自己評価を初めて実施する際には、その趣旨を十分理解できるように説明を行った。 自己点検・自己評価委員会を設置し、毎年教職員全員で自己点検を実施し、評価結果を学校運営に生かしている。	教職員内でも、自己点検・自己評価に対する理解にばらつきがあるため、研修会等の開催を検討中である。	学則 自己点検・自己評価表 学校評価実施規定 学校評価委員会議事録
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	関係法令に基づき自己点検結果を公表する。	文部科学省ガイドライン準拠の評価報告書に取りまとめ、本校ホームページにて公表している。	自己評価結果について教職員に周知徹底を図り、学校運営に適切に反映させていく。	本校ホームページ
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	学校教育法及び専修学校における学校評価ガイドラインに基づき、学校評価委員会を設置し、学校評価を実施する。	学校関係者評価実施規程に基づき、学校関係者評価委員会を設置して、学校評価を実施し、評価結果を学校運営に生かしている。また、学校関係者評価委員に対してさらなる理解を深めてもらうために、専門職大学に関することも含め情報の提供を行った。	学校関係者評価委員会を設置して、学校評価を実施し、評価結果を学校運営に生かしている。また、専門職大学の設置に向けて、評価委員の意見を取り入れ、専門職業人の養成を目的とした新しい高等教育機関の創設に取り組んでいく。	学校評価実施規程 学校関係者評価報告書 学校評価委員会議事録 本校ホームページ

9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	学校教育法及び専修学校における学校評価ガイドラインに基づき実施した結果を社会に広く公表するため、ホームページでの公表を行うことを方針としている。	文部科学省ガイドライン準拠の評価報告書に取りまとめ、本校ホームページ「情報の公表」に掲載している。	学校関係者評価結果について教職員に周知徹底を図り、学校運営に適切に反映させていく。	学校評価実施規程 学校関係者評価報告書 本校ホームページ
--------------------------	--	---	---	------------------------------------

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>自己点検・自己評価委員会を設置し、毎年教職員全員で自己点検を実施し、評価結果を学校運営に生かしている。</p> <p>入職初年度の常勤教職員に対して、自己点検・自己評価を初めて実施する際には、その趣旨を十分理解できるように説明を行った。</p> <p>また、文部科学省ガイドライン準拠の評価報告書に取りまとめ、本校ホームページにて公表している。</p> <p>学校関係者評価実施規程に基づき、学校関係者評価委員会を設置して、学校評価を実施し、評価結果を学校運営に生かしている。また、学校関係者評価委員に対してさらなる理解を深めてもらうために、専門職大学に関することも含め情報の提供を行った。</p>	<p>学校関係者評価委員会を設置して、学校評価を実施し、評価結果を学校運営に生かしている。また、専門職大学の設置に向けて、評価委員の意見を取り入れ、専門職業人の養成を目的とした新しい高等教育機関の創設に取り組んでいく。</p>

最終更新日付	平成 30 年 2 月 15 日	記載責任者	梅崎 航
--------	------------------	-------	------

9-35 教育情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	学生・保護者・関連業界等に対して積極的に教育情報提供を行い、教育活動の質の向上を目指す。	職業実践専門課程の規定に則り、基本情報「様式4」を本校ホームページに掲載し、積極的な情報公開を行っている。 また、スマートフォンの普及に対応するため、スマートフォン用学校ホームページの充実を行っている。	スマートフォンで本校の情報を収集する関係者が年々増加している。さらに内容の充実を図っていくために、インターネットに精通した事務職員の養成を行っている。	学校案内パンフレット 本校ホームページ(職業実践専門課程基本情報様式4) スマートフォン用学校ホームページ

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
職業実践専門課程の規定に則り、基本情報「様式4」を本校ホームページに掲載し、積極的な情報公開を行っている。 また、スマートフォンの普及に対応するため、スマートフォン用学校ホームページの充実を行っている。	スマートフォンで本校の情報を収集する関係者が年々増加している。さらに内容の充実を図っていくために、インターネットに精通した事務職員の養成を行っている。

最終更新日付

平成30年2月15日

記載責任者

梅崎 航

基準 10 社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の社会貢献の一つとして、施設・設備等を開放し、各種団体及び地域との連携を深めることを行っている。本年度より TOEIC の試験会場として施設提供を行い、全国的に知名度の高い、実用英語試験の公的会場としての信頼も得ている。これらのことは、単に施設を提供するという段階から、本校の施設提供が確実に社会に貢献しているレベルになり始めたことを示している。これを機会に、今後さらに利用を広めるとともに、双方向性の情報交換、連携などを充実させていく。また、本校の教員や学生を積極的に高等学校等に派遣し、模擬授業などを通じて職業教育・キャリア教育に積極的に協力している。</p> <p>医療人として、災害時のサポートや地域老後介護施設などでのボランティアに積極的に参加させたり、スポーツ大会などの救護活動やトレーナー活動などのボランティア活動などにも参加させたりしている。さらに、地域貢献としての清掃活動や献血への参加を行い、自らの行動が他人の助けになるということを実感させ、医療人としての意識レベルの向上を目指している。このようなプログラムに参加した学生は、少なからず医療人としての意識、モチベーションを高めることができおり、今後さらに参加学生数の増加を目指す。</p>	<p>施設・設備の開放については、各種団体からは概ね好評を得ている。TOEIC の試験会場としての利用など、施設としての信頼度も増している。地域貢献の代表的な例として、福岡市早良区保健福祉センター地域保健福祉課の認知症予防体操講座などの企画をサポートしている。また、少年柔道教室の開催は、地域小学生の肉体的、精神的育成に寄与しており、高い評価を得ている。</p> <p>各種スポーツ関連大会や介護施設などで、医療系である本校の特色を生かし、学校で学んだ知識や技術を実践の場で生かせるようにしている。加えて、それらの活動を通じてコミュニケーション能力を高めることで、社会性の構築を目指している。これらの活動では、概ね好評を得ており、今後活動の幅を広げていく方針である。</p>

最終更新日付

平成 30 年 2 月 20 日

記載責任者

滝沢 哲也

10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	医療関係だけでなく、種々の分野の団体に施設・設備等を開放し、地域を中心とした社会貢献、及び連携を深めることを目指している。	各種医療系団体や近隣の高校などのトレーニング活動、勉強会に本校の施設・設備を開放している。加えて、本年度よりTOEICの試験会場として施設提供を行い、医療系だけでなく、それ以外の分野への貢献・連携を深めている。	今のところ、人伝による施設利用の展開が中心である。このことから、信頼できる人間関係を土台とした利用の広がりが重要であると考えられる。これを基本にインターネットなどで、実際の利用状況などを見られるようにし、活用を広めていく方法が必要である。	施設利用スケジュール表 施設利用願 施設利用規定 出前トレーナー報告書
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	国際社会のグローバル化に向け、台湾研修、ハワイ研修などを行い、学生が国際的な感覚を身に付けられるようにしている。	平成28年度に受け入れた留学生が帰国したが、本校に対し高い評価を得た。今後の国際化に向け、有意義な経験であった。	海外研修修了者からは概ね良好な感想を得ている。海外機関との交流、情報交換の展開を目指し、ホームページの一部英語化などが課題である。	平成29年度台湾研修報告書 平成29年度ハワイ研修報告書

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校の社会貢献の一つとして、施設・設備等を開放し、各種団体及び地域との連携を深めることを行っている。本年度よりTOEICの試験会場として施設提供を行い、全国的に知名度の高い、実用英語試験の公的会場としての信頼も得ている。これらのことは、単に施設を提供するという段階から、本校の施設提供が確実に社会に貢献しているレベルになり始めたことを示している。これを機会に、今後さらに利用を広めるとともに、双方向性の情報交換、連携などを充実させていく。また、本校の教員や学生を積極的に高等学校等に派遣し、模擬授業などを通じて職業教育・キャリア教育に積極的に協力している。	施設・設備の開放については、各種団体からは概ね好評を得ている。TOEICの試験会場としての利用など、施設としての信頼度も増している。地域貢献の代表的な例として、福岡市早良区保健福祉センター地域保健福祉課の認知症予防体操講座などの企画をサポートしている。また、少年柔道教室の開催は、地域小学生の肉体的、精神的育成に寄与しており、高い評価を得ている。

最終更新日付

平成30年2月15日

記載責任者

加藤 健一

10-37 ボランティア活動

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	<p>学生の社会性を育むため、各種スポーツ大会のサポートに参加させ、治療法などを間近で体験させ、医療技術者としての自覚を促すことを目標とする。</p> <p>また、社会貢献の重要性を体験させるため、近隣の清掃活動、献血、災害等による被害に対し、積極的に参加させる。</p>	<p>災害ボランティアとして、朝倉豪雨被害の支援活動を行った。また、高校野球、警察柔道・剣道大会などで救護活動やトレーナー活動の補助を行っている。さらに、学生をデイサービス、老人保健施設での催し物に参加させ、ボランティア精神を養わせている。地域貢献の一環として、近隣の公園清掃を行っている。本年度、新たに福岡県赤十字血液センターに協力し、30余名の献血活動も行った。</p>	<p>本年度は福岡県朝倉地区で豪雨被害があり、その支援活動に赴いた。その際、昨年の熊本地震での経験を生かすことができた。しかし、災害はいつ起こるか分からず、これらの経験で得た知識や情報を風化させないようにすることが課題である。そのために、近隣県の各種団体との連携を常にとり、かつ強化するとともに、いざという時の体制の構築が必要である。</p>	<p>救護・トレーナー活動集計 救護・支援活動記録 献血結果報告書(福岡県赤十字血液センター)</p>

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>医療人として、災害時のサポートや地域老後介護施設などでのボランティアに積極的に参加させたり、スポーツ大会などの救護活動やトレーナー活動などのボランティア活動などにも参加させたりしている。さらに、地域貢献としての清掃活動や献血への参加を行い、自らの行動が他人の助けになるということを実感させ、医療人としての意識レベルの向上を目指している。このようなプログラムに参加した学生は、少なからず医療人としての意識、モチベーションを高めることができおり、今後さらに参加学生数の増加を目指す。</p>	<p>各種スポーツ関連大会や介護施設などで、医療系である本校の特色を生かし、学校で学んだ知識や技術を実践の場で生かせるようにしている。加えて、それらの活動を通じてコミュニケーション能力を高めることで、社会性の構築を目指している。これらの活動では、概ね好評を得ており、今後活動の幅を広げていく方針である。</p>

最終更新日付	平成 30 年 2 月 15 日	記載責任者	加藤 健一
--------	------------------	-------	-------